

No.8 病院（村山地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	270	18	252	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	—	—	—	—	—	—
II 新生物	—	—	—	—	—	—
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	—	—	—	—	—	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	—	—	—	—	—	—
V 精神及び行動の障害	—	—	—	—	—	—
VI 神経系の疾患	—	—	—	—	—	—
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X 呼吸器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X I 消化器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X IV 尿路性器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	—	—	—	—	—	—
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	—	—	—	—	—	—
X X 保健サービスの利用	270	18	252	100%	100%	100%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	—	—	—	—	—	—
II 糖尿病	—	—	—	—	—	—
III 虚血性心疾患	—	—	—	—	—	—
IV 脳血管疾患	—	—	—	—	—	—
V 周産期	—	—	—	—	—	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.8 病院の患者総数は 270 名であり、そのうち入院患者は 18 名、外来患者は 252 名であった。No.8 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは保健サービスの利用であり、患者総数は 270 名(100%)であった。そのうち、入院患者は 18 名(100%)、外来患者が 252 名(100%)であった。具体的にはそれ以外の検査・検診・管理の患者が多く、患者総数が 270 名(100%)、入院患者が 18 名(100%)、外来患者が 252 名(100%)であった。

No.9 (村山地域)

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	929	244	685	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	43	6	37	5%	2%	5%
II 新生物	140	49	91	15%	20%	13%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	6	1	5	1%	0%	1%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	108	10	98	12%	4%	14%
V 精神及び行動の障害	6	—	6	1%	—	1%
VI 神経系の疾患	13	4	9	1%	2%	1%
VII 眼及び付属器の疾患	38	8	30	4%	3%	4%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	9	2	7	1%	1%	1%
IX 循環器系の疾患	108	39	69	12%	16%	10%
X 呼吸器系の疾患	62	9	53	7%	4%	8%
X I 消化器系の疾患	52	31	21	6%	13%	3%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	34	—	34	4%	—	5%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	45	9	36	5%	4%	5%
X IV 尿路性器系の疾患	83	14	69	9%	6%	10%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	32	19	13	3%	8%	2%
X VI 周産期に発生した病態	3	3	—	0%	1%	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	5	—	5	1%	—	1%
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	29	10	19	3%	4%	3%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	75	29	46	8%	12%	7%
X X 保健サービスの利用	38	1	37	4%	0%	5%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	114	44	70	12%	18%	10%
II 糖尿病	54	6	48	6%	2%	7%
III 虚血性心疾患	12	2	10	1%	1%	1%
IV 脳血管疾患	51	33	18	5%	14%	3%
V 周産期	40	22	18	4%	9%	3%

資料:平成17年山形県患者調査

解析結果

No.9 の患者総数は 929 名であり、そのうち入院患者は 244 名、外来患者は 685 名であった。No.9 では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは新生物であり、患者総数は 140 名(15%)であった。そのうち、入院患者は 49 名(20%)、外来患者が 91 名(13%)であった。具体的には胃の悪性新生物の患者が多く、患者総数が 26 名(3%)、入院患者が 11 名(5%)、外来患者が 15 名(2%)であった。その他には、その他の新生物の患者も多かった。

次に患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 108 名(12%)であった。そのうち、入院患者は 39 名(16%)、外来患者が 69 名(10%)であった。具体的には脳梗塞の患者が多く、患者総数が 37 名(4%)、入院患者が 24 名(10%)、外来患者が 13 名(2%)であった。その他には、本態性(原発性)高血圧(症)の患者も多かった。

三番目の患者数が多いのは内分泌、栄養及び代謝疾患であり、患者総数は 108 名(12%)であった。そのうち、入院患者は 10 名(4%)、外来患者が 98 名(14%)であった。具体的にはインスリン非依存性糖尿病の患者が多く、患者総数が 40 名(4%)、入院患者が 4 名(2%)、外来患者が 36 名(5%)であった。その他には、卵巣機能障害の患者も多かった。

No.10 病院（村山地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	165	30	135	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	3	3	—	2%	10%	—
II 新生物	2	2	—	1%	7%	—
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	—	—	—	—	—	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	19	—	19	12%	—	14%
V 精神及び行動の障害	2	—	2	1%	—	1%
VI 神経系の疾患	—	—	—	—	—	—
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	59	9	50	36%	30%	37%
X 呼吸器系の疾患	17	3	14	10%	10%	10%
X I 消化器系の疾患	9	1	8	5%	3%	6%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	3	1	2	2%	3%	1%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	20	1	19	12%	3%	14%
X IV 尿路性器系の疾患	13	4	9	8%	13%	7%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	3	3	—	2%	10%	—
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	7	2	5	4%	7%	4%
X X 保健サービスの利用	8	1	7	5%	3%	5%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	2	2	—	1%	7%	—
II 糖尿病	16	—	16	10%	—	12%
III 虚血性心疾患	2	—	2	1%	—	1%
IV 脳血管疾患	8	4	4	5%	13%	3%
V 周産期	—	—	—	—	—	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.10 病院の患者総数は 165 名であり、そのうち入院患者は 30 名、外来患者は 135 名であった。No.10 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 59 名(36%)であった。そのうち、入院患者は 9 名(30%)、外来患者が 50 名(37%)であった。具体的には本態性(原発性)高血圧(症)の患者が多く、外来患者が 42 名(31%)であった。その他には、脳梗塞、心不全の患者も多かった。

次に患者数が多いのは筋骨格系及び結合組織の疾患であり、患者総数は 20 名(12%)であった。そのうち、入院患者は 1 名(3%)、外来患者が 19 名(14%)であった。具体的には骨粗しょう症の患者が多く、外来患者が 9 名(7%)であった。

三番目に患者数が多いのは内分泌、栄養及び代謝疾患であり、外来患者が 19 名(14%)であった。具体的にはインスリン非依存性糖尿病の患者が多く、外来患者が 15 名(11%)であった。

No.11 病院（村山地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	111	2	109	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	9	1	8	8%	50%	7%
II 新生物	1	—	1	1%	—	1%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	—	—	—	—	—	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	50	—	50	45%	—	46%
V 精神及び行動の障害	1	—	1	1%	—	1%
VI 神経系の疾患	2	—	2	2%	—	2%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	20	—	20	18%	—	18%
X 呼吸器系の疾患	5	—	5	5%	—	5%
X I 消化器系の疾患	3	—	3	3%	—	3%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	11	—	11	10%	—	10%
X IV 尿路性器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	2	1	1	2%	50%	1%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	5	—	5	5%	—	5%
X X 保健サービスの利用	2	—	2	2%	—	2%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	1	—	1	1%	—	1%
II 糖尿病	49	—	49	44%	—	45%
III 虚血性心疾患	2	—	2	2%	—	2%
IV 脳血管疾患	5	—	5	5%	—	5%
V 周産期	—	—	—	—	—	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.11 病院の患者総数は 111 名であり、そのうち入院患者は 2 名、外来患者は 109 名であった。No.11 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは内分泌、栄養及び代謝疾患であり、外来患者が 50 名(46%)であった。具体的にはインスリン非依存性糖尿病の患者が多く、外来患者が 49 名(45%)であった。

次に患者数が多いのは循環器系の疾患であり、外来患者が 20 名(18%)であった。具体的には本態性(原発性)高血圧(症)の患者が多く、外来患者が 12 名(11%)であった。その他には、脳梗塞の患者も多かった。

No.12 病院（村山地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	244	170	74	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	—	—	—	—	—	—
II 新生物	—	—	—	—	—	—
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	—	—	—	—	—	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	—	—	—	—	—	—
V 精神及び行動の障害	222	157	65	91%	92%	88%
VI 神経系の疾患	15	10	5	6%	6%	7%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	6	3	3	2%	2%	4%
X 呼吸器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X I 消化器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X IV 尿路性器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	1	—	1	0%	—	1%
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	—	—	—	—	—	—
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	—	—	—	—	—	—
X X 保健サービスの利用	—	—	—	—	—	—

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	—	—	—	—	—	—
II 糖尿病	—	—	—	—	—	—
III 虚血性心疾患	—	—	—	—	—	—
IV 脳血管疾患	6	3	3	2%	2%	4%
V 周産期	1	—	1	0%	—	1%

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.12 病院の患者総数は 244 名であり、そのうち入院患者は 170 名、外来患者は 74 名であった。No.12 病院では入院患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは精神及び行動の障害であり、患者総数は 222 名(91%)であった。そのうち、入院患者は 157 名(92%)、外来患者が 65 名(88%)であった。具体的には統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害の患者が多く、患者総数が 97 名(40%)、入院患者が 77 名(45%)、外来患者が 20 名(27%)であった。その他には、血管性及び詳細不明の認知症、気分[感情]障害(躁うつ病を含む)の患者も多かった。

No.13 病院（村山地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	1,062	347	715	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	24	8	16	2%	2%	2%
II 新生物	114	53	61	11%	15%	9%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	9	4	5	1%	1%	1%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	49	11	38	5%	3%	5%
V 精神及び行動の障害	1	1	—	0%	0%	—
VI 神経系の疾患	23	8	15	2%	2%	2%
VII 眼及び付属器の疾患	31	1	30	3%	0%	4%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	18	2	16	2%	1%	2%
IX 循環器系の疾患	218	79	139	21%	23%	19%
X 呼吸器系の疾患	57	35	22	5%	10%	3%
X I 消化器系の疾患	97	31	66	9%	9%	9%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	40	1	39	4%	0%	5%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	122	21	101	11%	6%	14%
X IV 尿路性器系の疾患	50	18	32	5%	5%	4%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	11	8	3	1%	2%	0%
X VI 周産期に発生した病態	1	1	—	0%	0%	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	2	—	2	0%	—	0%
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	30	10	20	3%	3%	3%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	134	55	79	13%	16%	11%
X X 保健サービスの利用	31	—	31	3%	—	4%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	99	47	52	9%	14%	7%
II 糖尿病	29	6	23	3%	2%	3%
III 虚血性心疾患	9	1	8	1%	0%	1%
IV 脳血管疾患	133	56	77	13%	16%	11%
V 周産期	14	9	5	1%	3%	1%

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.13 病院の患者総数は 1,062 名であり、そのうち入院患者は 347 名、外来患者は 715 名であった。No.13 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 218 名(21%)であった。そのうち、入院患者は 79 名(23%)、外来患者が 139 名(19%)であった。具体的には脳梗塞の患者が多く、患者総数が 72 名(7%)、入院患者が 31 名(9%)、外来患者が 41 名(6%)であった。

次に患者数が多いのは損傷、中毒及びその他の外因の影響であり、患者総数は 134 名(13%)であった。そのうち、入院患者は 55 名(16%)、外来患者が 79 名(11%)であった。具体的にはその他の四肢の骨折の患者が多く、患者総数が 32 名(3%)、入院患者が 15 名(4%)、外来患者が 17 名(2%)であった。

三番目に患者数が多いのは筋骨格系及び結合組織の疾患であり、患者総数は 122 名(11%)であった。そのうち、入院患者は 21 名(6%)、外来患者が 101 名(14%)であった。具体的には脊椎障害(脊椎症を含む)の患者が多く、患者総数が 65 名(6%)、入院患者が 6 名(2%)、外来患者が 59 名(8%)であった。

No.14 病院（村山地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	295	157	138	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	2	1	1	1%	1%	1%
II 新生物	1	—	1	0%	—	1%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	—	—	—	—	—	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	12	—	12	4%	—	9%
V 精神及び行動の障害	156	101	55	53%	64%	40%
VI 神経系の疾患	37	25	12	13%	16%	9%
VII 眼及び付属器の疾患	38	—	38	13%	—	28%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	43	28	15	15%	18%	11%
X 呼吸器系の疾患	1	1	—	0%	1%	—
X I 消化器系の疾患	1	—	1	0%	—	1%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	1	—	1	0%	—	1%
X IV 尿路性器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	1	1	—	0%	1%	—
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	2	—	2	1%	—	1%
X X 保健サービスの利用	—	—	—	—	—	—

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	1	—	1	0%	—	1%
II 糖尿病	4	—	4	1%	—	3%
III 虚血性心疾患	—	—	—	—	—	—
IV 脳血管疾患	28	25	3	9%	16%	2%
V 周産期	—	—	—	—	—	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.14 病院の患者総数は 295 名であり、そのうち入院患者は 157 名、外来患者は 138 名であった。No.14 病院では入院患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは精神及び行動の障害であり、患者総数は 156 名(53%)であった。そのうち、入院患者は 101 名(64%)、外来患者が 55 名(40%)であった。具体的には血管性及び詳細不明の認知症の患者が多く、患者総数が 74 名(25%)、入院患者が 62 名(39%)、外来患者が 12 名(9%)であった。その他には、統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害の患者も多かった。

次に患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 43 名(15%)であった。そのうち、入院患者は 28 名(18%)、外来患者が 15 名(11%)であった。具体的には脳梗塞の患者が多く、患者総数が 17 名(6%)、入院患者が 14 名(9%)、外来患者が 3 名(2%)であった。

三番目に患者数が多いのは眼及び付属器の疾患であり、外来患者が 38 名(28%)であった。具体的には白内障の患者が多く、外来患者が 18 名(13%)であった。

その他には、神経系の疾患におけるアルツハイマー病の患者も多かった。

No.15 病院（村山地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	290	250	40	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	1	—	1	0%	—	3%
II 新生物	4	4	—	1%	2%	—
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	—	—	—	—	—	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	4	3	1	1%	1%	3%
V 精神及び行動の障害	3	3	—	1%	1%	—
VI 神経系の疾患	8	8	—	3%	3%	—
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	226	223	3	78%	89%	8%
X 呼吸器系の疾患	3	1	2	1%	0%	5%
X I 消化器系の疾患	2	—	2	1%	—	5%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	1	—	1	0%	—	3%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	30	4	26	10%	2%	65%
X IV 尿路性器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	1	1	—	0%	0%	—
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	7	3	4	2%	1%	10%
X X 保健サービスの利用	—	—	—	—	—	—

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	4	4	—	1%	2%	—
II 糖尿病	3	3	—	1%	1%	—
III 虚血性心疾患	—	—	—	—	—	—
IV 脳血管疾患	221	220	1	76%	88%	3%
V 周産期	—	—	—	—	—	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.15 病院の患者総数は 290 名であり、そのうち入院患者は 250 名、外来患者は 40 名であった。No.15 病院では入院患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 226 名(78%)であった。そのうち、入院患者は 223 名(89%)、外来患者が 3 名(8%)であった。具体的には脳梗塞の患者が多く、入院患者が 176 名(70%)であった。その他には、脳内出血の患者も多かった。

次に患者数が多いのは筋骨格系及び結合組織の疾患であり、患者総数は 30 名(10%)であった。そのうち、入院患者は 4 名(2%)、外来患者が 26 名(65%)であった。具体的には関節症、および脊椎障害(脊椎症を含む)の患者が多く、共に外来患者が 12 名(30%)であった。

No.16 病院（村山地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	249	118	131	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	—	—	—	—	—	—
II 新生物	—	—	—	—	—	—
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	1	—	1	0%	—	1%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	2	1	1	1%	1%	1%
V 精神及び行動の障害	—	—	—	—	—	—
VI 神経系の疾患	7	4	3	3%	3%	2%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	34	22	12	14%	19%	9%
X 呼吸器系の疾患	3	1	2	1%	1%	2%
X I 消化器系の疾患	5	1	4	2%	1%	3%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	3	1	2	1%	1%	2%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	64	17	47	26%	14%	36%
X IV 尿路性器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	1	1	—	0%	1%	—
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	125	67	58	50%	57%	44%
X X 保健サービスの利用	4	3	1	2%	3%	1%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	—	—	—	—	—	—
II 糖尿病	1	—	1	0%	—	1%
III 虚血性心疾患	—	—	—	—	—	—
IV 脳血管疾患	29	22	7	12%	19%	5%
V 周産期	—	—	—	—	—	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.16 病院の患者総数は 249 名であり、そのうち入院患者は 118 名、外来患者は 131 名であった。No.16 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは損傷、中毒及びその他の外因の影響であり、患者総数は 125 名(50%)であった。そのうち、入院患者は 67 名(57%)、外来患者が 58 名(44%)であった。具体的にはその他の四肢の骨折の患者が多く、患者総数が 34 名(14%)、入院患者が 13 名(11%)、外来患者が 21 名(16%)であった。その他には、大腿骨の骨折、頸部、胸部及び骨盤の骨折(脊椎を含む)、脱臼、捻挫及びストレッチの患者も多かった。

次に患者数が多いのは筋骨格系及び結合組織の疾患であり、患者総数は 64 名(26%)であった。そのうち、入院患者は 17 名(14%)、外来患者が 47 名(36%)であった。具体的には脊椎障害(脊椎症を含む)の患者が多く、患者総数が 22 名(9%)、入院患者が 10 名(8%)、外来患者が 12 名(9%)であった。

三番目に患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 34 名(14%)であった。そのうち、入院患者は 22 名(19%)、外来患者が 12 名(9%)であった。具体的には脳梗塞の患者が多く、患者総数が 21 名(8%)、入院患者が 18 名(15%)、外来患者が 3 名(2%)であった。

No.17 病院（村山地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	352	221	131	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	1	—	1	0%	—	1%
II 新生物	—	—	—	—	—	—
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	—	—	—	—	—	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	—	—	—	—	—	—
V 精神及び行動の障害	304	202	102	86%	91%	78%
VI 神経系の疾患	43	17	26	12%	8%	20%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	1	—	1	0%	—	1%
X 呼吸器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X I 消化器系の疾患	1	—	1	0%	—	1%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X IV 尿路性器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	1	1	—	0%	0%	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	—	—	—	—	—	—
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1	1	—	0%	0%	—
X X 保健サービスの利用	—	—	—	—	—	—

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	—	—	—	—	—	—
II 糖尿病	—	—	—	—	—	—
III 虚血性心疾患	—	—	—	—	—	—
IV 脳血管疾患	—	—	—	—	—	—
V 周産期	1	1	—	0%	0%	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.17 病院の患者総数は 352 名であり、そのうち入院患者は 221 名、外来患者は 131 名であった。No.17 病院では入院患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは精神及び行動の障害であり、患者総数は 304 名(86%)であった。そのうち、入院患者は 202 名(91%)、外来患者が 102 名(78%)であった。具体的には統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害の患者が多く、患者総数が 158 名(45%)、入院患者が 130 名(59%)、外来患者が 28 名(21%)であった。その他には、血管性及び詳細不明の認知症、気分[感情]障害(躁うつ病を含む)の患者も多かった。

次に患者数が多いのは神経系の疾患であり、患者総数は 43 名(12%)であった。そのうち、入院患者は 17 名(8%)、外来患者が 26 名(20%)であった。具体的にはアルツハイマー病の患者が多く、患者総数が 34 名(10%)、入院患者が 9 名(4%)、外来患者が 25 名(19%)であった。